

## 中国が井上ひさし作の「水の手紙」を上演。 演劇を通じて、地球環境への世論喚起をはかる。

上海万博で沸き立つ中国で、環境をテーマとした井上ひさし作の群読劇「水の手紙」が演じられた。あわせて国際シンポジウムも行われ、経済的発展の陰で環境問題も懸念されている中国で大きな反響を呼ぶ一方、関係者は演劇に環境保全の啓蒙という新たな表現域が生まれたと評価をしている。

### 東京で演じられた群読劇が中国へ渡る。

2010年6月5日～7日の日程で「地球環境と演劇」をテーマとした、演劇と国際シンポジウムが中国の杭州と上海で開催された。そこで井上ひさし氏が群読劇のために書き下ろした「水の手紙」が上演されることになった。これは渇水や汚染など水にまつわる世界中の話をつづり、人の生活にいかんが貴重であるかを説いた作品である。

この公演が実現した発端は、前年度に社団法人 国際演劇協会と、早稲田大学が協力して行ったドラマリー

ディングとシンポジウム「感劇・環境」にある。この会で「水の手紙」の他、過士行(中国)作「魚人」、アーニャ・ヒリング(ドイツ)作「黒い獣、悲しみ」が上演された。その際に、シンポジウムのゲストとして出席したのが、浙江大学の胡志毅教授だった。胡教授は「水の手紙」を激賞した。

浙江大学のある浙江省杭州には、西湖(せいこ)という美しい湖がある。周辺には名所旧跡がずらりとあり、かのマルコポーロも訪れ「東方見聞録」にも紹介されている。その西湖の水が杭州の環境改善によって蘇ったという話を胡教授は披露し、「中国でも『水の手紙』を上演したい」と語ったのである。

胡教授の全面的な協力によって企画は進行していった。公演は6月5日に浙江大学紫金港小劇場、7日に上海戯劇学院瑞鈞劇場で行われることに決まった。

「水の手紙」は中国語に翻訳され、演出は胡教授が担当した。前年度は早稲田大学の学生たちが行った群読劇は、今度は中国語で浙江大学の学生たちが初々しく演じ

たのである。

国際演劇協会事務局長の曾田修司さんは公演の様相を次のように語る。

「残念なことですが4月には井上ひさしさんが他界され、追悼公演ともなりました。井上さんの作品は中国でも有名で、この作品は群読劇というスタイルの珍しさもあり、たいへんな反響でした」

### 想像力に働きかけ、感性に訴える力が演劇にはある。

「水の手紙」に続いて、中国の作品が2本上演された。中国の演劇作品はどれも長いため部分上演だ。一作目は早稲田大学でも演じられた「魚人」である。人間と魚、そして水との共生を説いたものである。これは上海戯劇学院の制作だが、主役の2人はプロがつとめたので、さすがに迫力のある劇となった。

もう一作は「中国の夢」(孫恵柱作)で渡米した女性が主人公。故郷の山河を思い、ダム建設や工業化によって美しい自然が失われていると聞いて、心を痛める場面などが部分上演された。こちらは浙江大学の学生劇団「黒白劇社」の作品である。中国では1980年代からすでに、環

### 担当者より



東京発の地球環境  
保護のメッセージが  
広がりました

社団法人 国際演劇協会  
事務局長  
曾田修司さん

今回のイベントはAJOSCと地球環境文化研究所の助成によって実現したもので、私たちにとりまして初の試みでした。東京発の地球環境保護のメッセージが、中国に受け止められ広がったことはうれしく思います。これからもお力添えいただきたくお願い申し上げます。

境問題に警鐘をならす作品が生まれていた。7日の公演後には、日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんと「中国の夢」の作者で、上海戯劇学院の副院長、孫恵柱さんのトークショーも行われた。

一方、6月6日は国際シンポジウムが行われた。日本からは国際演劇協会会長の永井多恵子さんや、早稲田大学文学学術院竹本幹夫教授、中央大学文学部飯塚容教授などがパネリストとして参加した。

主催者挨拶として永井多恵子さんは「地球環境はすべての命の根源であると共に、演劇活動にとっても人間の表現活動を生み出す、感性、想像力の源泉でもあります。この観点から演劇人として地球環境について危機意識を高め、観客の想像力を喚起すると共に(演劇)の持つ感性に訴える力によって、国際的な貢献を行いたい」と今回の会の意義と今後の抱負を述べた。

また中国側の長老格ともいえる田本相中国芸術研究院教授は「人類は存亡をかけた歴史的な挑戦に直面し、大自然に対する観念と態度を改めなくてはならない。演劇もまたその社会的使命を受け継ぐとともに、新しい偉大な歴史的使命を担わなければならない。来年は北京で開催したい」と締めくくった。

なお、日本では6月26日に桐朋学園芸術短期大学学生による『水の手紙』が上演されるなど、演劇を通じた啓発の流れはすでに広がりを見せている。



群読劇という珍しいスタイルで、たいへんな反響があった



群読劇「水の手紙」



公演後に行われたアグネス・チャンさんのトークショー